

# 厚生委員会報告資料

令和3年7月1日

報告事項件名	頁
1 東京女子医科大学附属足立医療センターの診療科目等並びに 開院日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 足立区データヘルス計画の計画期間延伸について・・・・・・・・	10
3 「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づく 令和2年度事業実施結果等の概要報告について・・・・・・・・	11
4 足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について・・・・・・・・	19
5 新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況について・・・・・・・・	23

(衛 生 部)

# 厚生委員会報告資料

令和3年7月1日

件名	東京女子医科大学附属足立医療センターの診療科目等並びに開院日について								
所管部課名	衛生部衛生管理課								
内容	<p>令和3年度開設予定の東京女子医科大学附属足立医療センターの標榜診療科等並びに開設時期について東京女子医科大学より報告があったので、その内容を報告する。</p> <p><b>1 標榜診療科について</b> (令和3年4月23日現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">東医療センター標榜診療科</th> <th style="width: 50%;">足立医療センター標榜診療科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">                     内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、消化器外科、小児科、整形外科、リウマチ科、形成外科、美容外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、精神科、麻酔科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、乳腺外科、病理診断科、臨床検査科、内視鏡内科、リハビリテーション科、化学療法・緩和ケア内科                 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 標榜診療科とは、「内科」「外科」といった医療機関が外部に掲げている医療法で定められたもの</p> <p><b>2 病院機能について</b></p> <p>平成30年12月19日付「東京女子医科大学東医療センターの建設及び運営等に関する基本協定書」において取り交わした6つの病院機能(下線部)については担保されたことを確認した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">基本協定書で取り交わした6つの機能</th> <th style="width: 50%;">足立医療センターの有する機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センター</li> <li>・災害拠点中核病院</li> <li>・地域がん診療病院</li> <li>・地域周産期母子医療センター*1</li> <li>・地域医療支援病院</li> <li>・高度急性期病院*2</li> </ul> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">6つの機能については変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 新病院移転後に総合周産期母子医療センターを目指す。                      *2 医療法施行規則第30条の33の2第1項に規定する高度急性期に必要な医療の機能</p>	東医療センター標榜診療科	足立医療センター標榜診療科	内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、消化器外科、小児科、整形外科、リウマチ科、形成外科、美容外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、精神科、麻酔科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、乳腺外科、病理診断科、臨床検査科、内視鏡内科、リハビリテーション科、化学療法・緩和ケア内科	変更なし	基本協定書で取り交わした6つの機能	足立医療センターの有する機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センター</li> <li>・災害拠点中核病院</li> <li>・地域がん診療病院</li> <li>・地域周産期母子医療センター*1</li> <li>・地域医療支援病院</li> <li>・高度急性期病院*2</li> </ul>	6つの機能については変更なし
東医療センター標榜診療科	足立医療センター標榜診療科								
内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、消化器外科、小児科、整形外科、リウマチ科、形成外科、美容外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、精神科、麻酔科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、乳腺外科、病理診断科、臨床検査科、内視鏡内科、リハビリテーション科、化学療法・緩和ケア内科	変更なし								
基本協定書で取り交わした6つの機能	足立医療センターの有する機能								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センター</li> <li>・災害拠点中核病院</li> <li>・地域がん診療病院</li> <li>・地域周産期母子医療センター*1</li> <li>・地域医療支援病院</li> <li>・高度急性期病院*2</li> </ul>	6つの機能については変更なし								

その他病院が有する機能:救急告示病院、東京DMA T指定病院、臨床研修指定病院、臨床修練指定病院（外国医師、外国歯科医師）、がんゲノム医療連携病院

### 3 診療科目等の議連要望について

東京女子医科大学附属足立医療センター移転に際しての議連要望に対する回答は、P4～7 別紙1のとおり。

なお、変更のあった箇所は以下のとおり。

別紙	項目	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
II-8	漢方外来	△ 東洋医学研究所(田端)にて漢方診療機能を既に有しているため	× 東洋医学研究所が令和元年7月1日に田端から本院隣接地(新宿)へ移転

### 4 開院日

令和4年1月1日(土)

※ 外来診療は令和4年1月5日(水)から開始(P8 別紙2のとおり)

※ 東医療センター(荒川区)は、令和3年12月29日(水)で外来診療が終了

※ 現在行っている足立医療センター工事竣工(令和3年7月予定)後に、開院に向け事務室内パーテーションの設置、医療機器や什器備品の搬入、ネット環境などの整備を行う予定

### 5 その他

東京女子医科大学看護専門学校は、令和3年12月1日に開校

問題点  
今後の方針

今後も区内医療機関との連携を図るため、東京女子医科大学東医療センター整備及び運営等協議会において協議を重ねていく。

## I. 【機能に関すること】

議連要望	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
1 周産期医療	○	変更なし
2 がん治療（がん診療連携拠点機能）・がん治療センター	○	
3 三次救急（救急・高度医療）	○	
4 夜間・休日診療	○	
5 小児科救急（小児 ICU）	× 三次救急にて小児救急の機能も包有されるため、小児 ICU 単独はできない。	
6 地域医療支援病院	○	
7 災害派遣医療チーム・DMAT 指定医療機関	○	
8 精神科二次救急	× 人員配置が困難なため。但し、入院病棟は設置を検討。	
9 乳癌凍結療法	× 自費診療であり高額なため。	

## II. 【診療科目に関すること】

議連要望	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
1 女性専門外来	○	変更なし
2 不妊治療	× 高度急性期の機能と合致しないため。	
3 男性不妊外来	○ 不妊より多い男性更年期外来を 2018 年上半期に立ち上げた。	
4 脳神経内科（パーキンソン病等にも対応）	○	
5 リハビリテーション科（診療部門）	× 高度急性期の機能に合致した回復リハ、術後リハを主に実施。	

II. 【診療科目に関すること】		
議連要望	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
6 母乳ケア外来	○	変更なし
7 総合診療科	× 内科がこれに近い機能を既に有しているため、改めて総合診療科の設置は行わない。	
8 漢方外来	△ 東洋医学研究所（田端）にて漢方診療機能を既に有しているため。	× 東洋医学研究所が令和元年7月1日に田端から本院隣接地（新宿）へ移転。
9 発達障害外来・ADHD 外来	○ 小児科で実施。	変更なし

III. 【体制や施設等に関すること】		
議連要望	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
1 緩和ケア・緩和ケア病棟の設置	△ 緩和ケアは○。緩和ケア病棟は×。 高度急性期の機能に合致しないため。	変更なし
2 産後ケアセンター（マタニティケアホーム・産後ケアハウス）・産後ケアシステム	× 高度急性期の機能に合致しないため。	
3 周産期医療センター	○	
4 分娩施設	○	
5 周産期新生児診療部・新生児科（医療的ケア児対応機能完備）及びNICU 退院時の在宅医療支援	× 高度急性期の機能に合致しないため。 医療的ケア児対応機能は無し。	
6 母体・胎児集中治療管理室（MFICU）・新生児集中治療管理室（NICU）の拡充	○	
7 女性健康相談センター	○ 女性専門外来で対応。	

### Ⅲ. 【体制や施設等に関すること】

議連要望		平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
8	医療安全推進室（診療支援部門）	○ 医療安全対策室は設置済み。	変更なし
9	予防強化対策室（診療支援部門）	疾患によっては○	
10	地域医療連携部・入院医療連携センター（診療支援部門）	○	
11	医療情報中継センター（診療支援部門）	× 大学病院が担う機能として相応しくないため。	
12	障がいのある子どもも受診可能な医療設備	○	
13	病児保育	× 一般開放しないため。	
14	病院内学級	× 高度急性期で在院日数も少ないため。	
15	アピアランス支援センター	× 大学病院が担う機能として相応しくないため。	

### Ⅳ. 【地域連携に関すること】

議連要望		平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
1	災害拠点中核病院として区内の災害拠点病院との病病連携や救護体制のための勉強会などの立ち上げ	○ 区東北部二次保健医療圏地域災害医療連携会議で活動している。	変更なし
2	地域連携医療充実のための窓口設置	○ 在宅診療、訪問診療に限定したものではないが、地域連携室を設置している。	
3	地域医療を総合的に支援する役割	○	
4	地域包括ケアシステムを整備し在宅医療を充実	× 高度急性期及び大学病院が担う機能として相応しくないため。	
5	地域連携の拠点	○	

## V. 【協議会の設置に関すること】

議連要望	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
1 病院整備に関する運営協議会の設置（三師会含む）	○ 設置済み。	変更なし

## VI. 【その他】

議連要望	平成30年度 女子医大回答	令和3年度 女子医大回答
1 先進高額医療機器購入の事前相談	事前報告予定。	変更なし
2 個室の割合について	49% (H30年10月25日回答)	
3 医療的ケア児の学校現場で看護管理ができる体制を	—	
4 バス、コミバス等の交通環境	—	
5 バスロータリー・福祉タクシー乗り場の整備	—	
6 研修医や看護師寮・院内保育・看護専門学校などの附属施設の充実	○	
7 廃棄物処理・清掃業の区内企業活用	—	
8 医療・介護の連携の地域包括ケアシステムを整備	—	
9 江北保健センター機能の一部を委託	×	

# 東京女子医科大学東医療センター 移転のお知らせ

令和4年1月に足立区<sup>こうほく</sup>江北へ移転、  
「東京女子医科大学附属足立医療センター」  
と名称が変わります

87年にわたり皆さまとともに歩んで参りました東京女子医科大学東医療センターは、さらなる高度医療と災害に強い新しい病院となって、地域の皆様とともに再び歩んで参ります。

東京女子医科大学附属 足立医療センター 完成予想図



● 東医療センター(荒川区)  
令和3年

12/29 水 まで

● 足立医療センター(足立区)  
令和4年

1/5 水 から

● 現在お持ちの診察券は、新しい病院で引き続きご利用いただけます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解賜りたくお願い申し上げます。



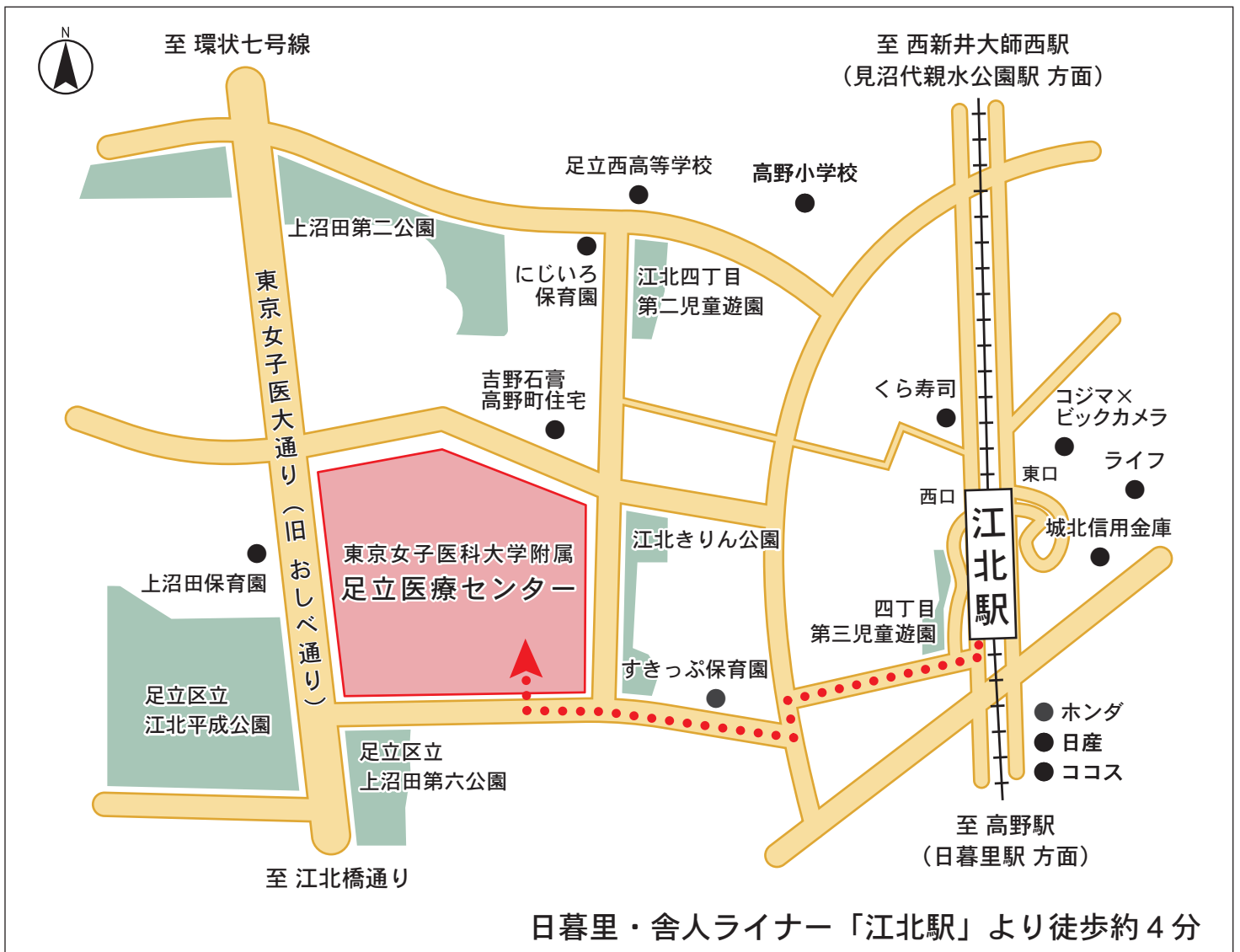


## 広域図



近隣鉄道駅からの路線バス運行について、関係各社と協議中です。詳細は決定後にお知らせいたします。

## 近隣図



# 厚生委員会報告資料

令和3年7月1日

件名	足立区データヘルス計画の計画期間延伸について
所管部課名	衛生部データヘルス推進課
内 容	<p>足立区データヘルス計画は令和2年度中に改定を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計画改定のための十分な期間を確保できなかったため、以下のとおり計画期間を1年延伸する。</p> <p><b>1 計画期間</b></p> <p>(1) 変更前 平成30年度から令和2年度まで</p> <p>(2) 変更後 平成30年度から令和3年度まで</p> <p><b>2 今後の対応</b></p> <p>令和3年度中に足立区データヘルス計画を改定する。 次期計画の計画期間は「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、「足立区国民健康保険第三期特定健康診査等実施計画」の終期と合わせるために、令和4年度から令和5年度までとする。</p>
問題点 今後の方針	次期計画は厚生労働省が定める「保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き」の内容を踏まえて作成する。

# 厚生委員会報告資料

令和3年7月1日

件名	「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づく令和2年度事業実施結果等の概要報告について																		
所管部課名	衛生部こころとからだの健康づくり課 データヘルス推進課																		
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン」3つの基本方針に基づき、令和2年度に行った主な事業の実施結果等を報告する。</p> <p><b>1 野菜を食べやすい環境づくり</b></p> <p>(1) あだちベジタベライフ協力店          ベジ・ファーストメニューや野菜たっぷりメニュー等を提供する店舗数…910店舗（令和3年3月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開拓委託による新規登録【120店舗】</li> <li>・ 既存店ののぼり旗等掲示物の点検【190店舗】</li> </ul> <p>ア 6月食育月間では「自宅で“ちょい増し野菜”」をテーマにA-メール、豆の木メール、Facebook等で啓発を実施【46回】</p> <p>イ 11月糖尿病月間では「コロナ太りが気になるアナタ！」をテーマに「テイクアウトで野菜が食べられるメニュー」の提供やSNSを活用した啓発を実施</p> <p>【メニュー提供：25店舗 3,147食、SNSでの発信56回】</p> <p>ウ 朝から野菜が食べられる「ベジタベモーニングメニュー」の登録店舗数…14店舗（令和3年3月末時点）</p> <div data-bbox="472 1323 1307 1939" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">(店) ベジタベライフ協力店 店舗数の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>店舗数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年 (H25)</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>2014年 (H26)</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>2015年 (H27)</td> <td>624</td> </tr> <tr> <td>2016年 (H28)</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>2017年 (H29)</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>2018年 (H30)</td> <td>728</td> </tr> <tr> <td>2019年 (R1)</td> <td>815</td> </tr> <tr> <td>2020年 (R2)</td> <td>910</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年	店舗数	2013年 (H25)	82	2014年 (H26)	630	2015年 (H27)	624	2016年 (H28)	607	2017年 (H29)	592	2018年 (H30)	728	2019年 (R1)	815	2020年 (R2)	910
年	店舗数																		
2013年 (H25)	82																		
2014年 (H26)	630																		
2015年 (H27)	624																		
2016年 (H28)	607																		
2017年 (H29)	592																		
2018年 (H30)	728																		
2019年 (R1)	815																		
2020年 (R2)	910																		

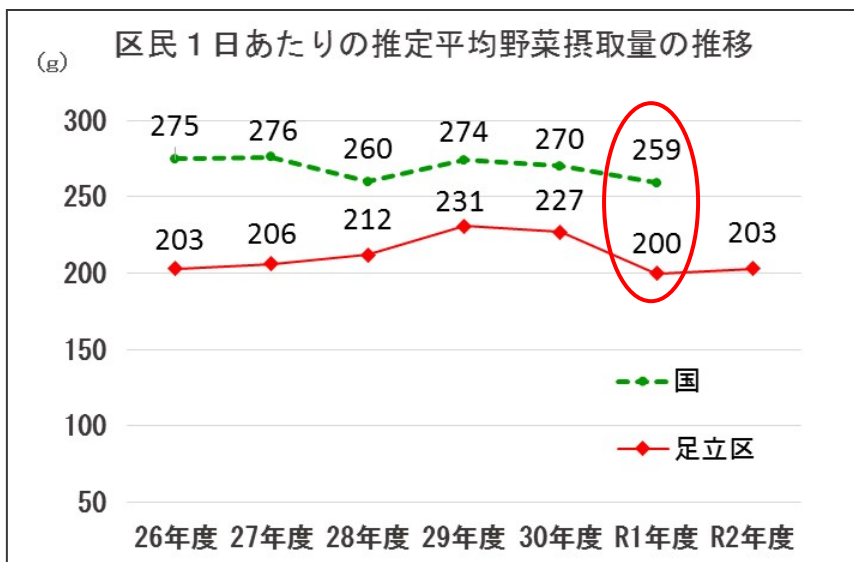
(2) 区民の野菜摂取

ア 区が11月に実施した「簡易型自記式食事歴法質問票 (BDHQ) による食習慣調査」

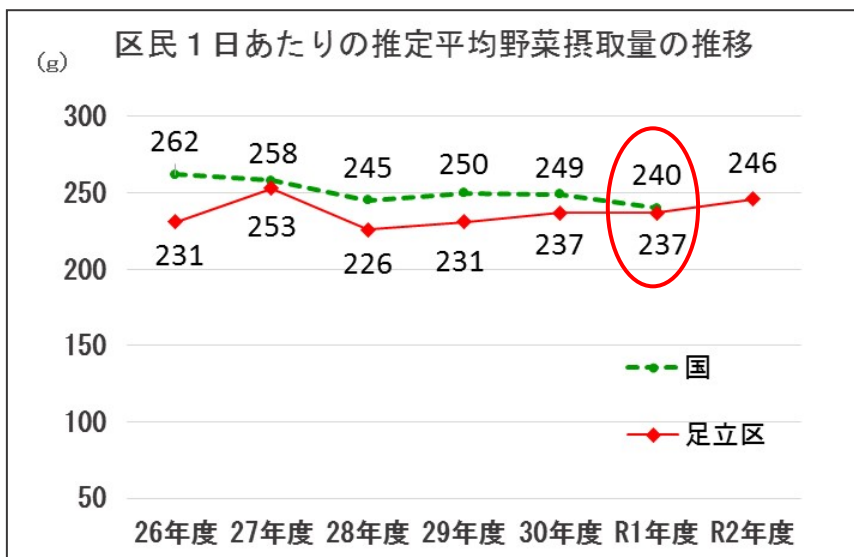
1日あたりの推定平均野菜摂取量…229g (令和元年度より8g増加)

推定野菜摂取量は229gであり、国が推奨する350g/日以上には121g足りない。平成26年度から横ばいが続いているが、国との差は縮小傾向にあり、特に女性は差が縮まっている。

【男性】



【女性】



(3) クックパッド「東京あだち食堂」、A-メール等における啓発

ア A-メールへのレシピ配信数 53品 累計 365品

イ レシピ投稿サイト「cookpad (クックパッド)」の足立区公式キッチン「東京あだち食堂」へのベジレシピ掲載数 55品、累計 296品、総アクセス数 約 231万回 (令和3年3月末時点)

ウ 足立成和信用金庫のLINEにて、野菜 100g レシピ 24品配信

(4) 北足立市場協会や民間企業等との連携

ア 北足立市場協会との連携

地域の青果店で、旬の野菜を使った 100g レシピを配布 (35 店舗)

イ 民間企業等との連携

足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社等と、糖尿病月間リーフレットの配付等で連携

## 2 子ども・家庭の良い生活習慣の定着

(1) 「あだち 食のスタンダード サポート BOOK」の活用

凝った料理を覚えるよりも、簡単であってもバランスのとれた食生活を可能とする実践力＝「あだち 食のスタンダード」の定着を目指し、学童保育室や高校等で活用

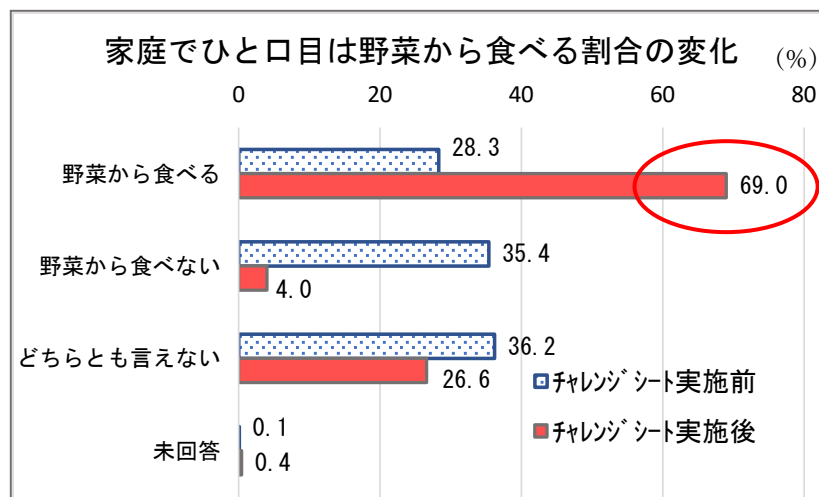
・ちよい増し野菜編 (高校生、保護者等対象) 5,000 部

(2) 幼稚園等における取り組み

幼稚園等での出張栄養教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としたが、「おうちでもひと口目は野菜からチャレンジシート」を活用し、家庭への啓発を実施

98 園、4,972 人

チャレンジシート実施後、「野菜から食べる園児の割合」は、28.3%から 69.0%に増加



保護者対象アンケート回答 : 32 園 962 人

(3) 学童保育室および高校における取り組み

料理教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としたが、代わりに学童保育室および高校向けに資料を配付

26 回、2,539 人

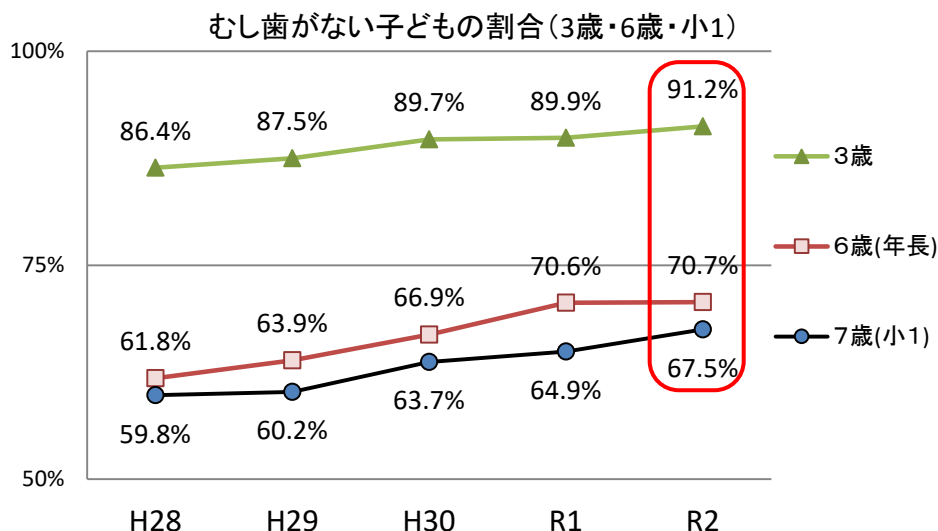
(4) 子どもの歯科健診結果

ア むし歯がない子どもの割合（3歳児・年長児・小学1年生）

むし歯がない子どもの割合は、3歳児は前年度より1.3ポイント増加し、初めて9割を超えた。

6歳(年長児)は0.1ポイントと微増で70.7%、小学1年生は、2.6ポイント増加し、67.5%であった。

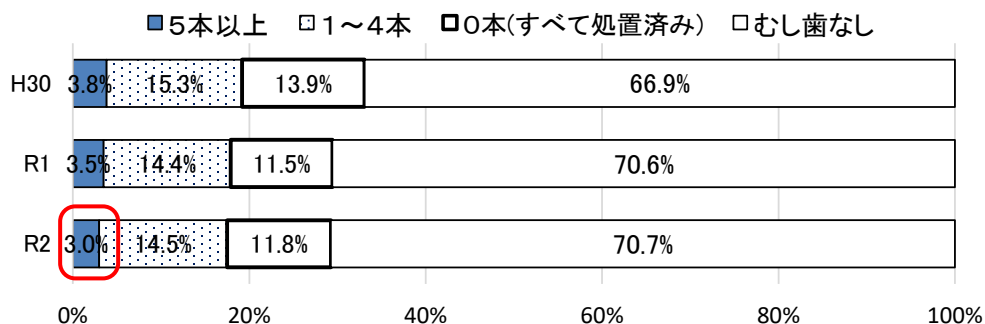
※ 新型コロナウイルス感染症により、あだちっ子歯科健診および定期学校健康診断は、通常より約5か月遅れて実施



イ 未処置のむし歯が5本以上ある子どもの割合（年長児）

未処置のむし歯を5本以上有する年長児の割合は、0.5ポイント減少し、3.0%であった。

年長児で5本以上未処置のむし歯を持つ子どもの割合(H30～R2)



(5) 未就学期および学齢期における歯の健康の取り組み

ア 年長児・小学1年生対象「6歳臼歯健康教室」の実施

健全な6歳臼歯(永久歯)を育成するため、教育・保育施設、小学校で、区歯科衛生士によるむし歯予防教室を実施

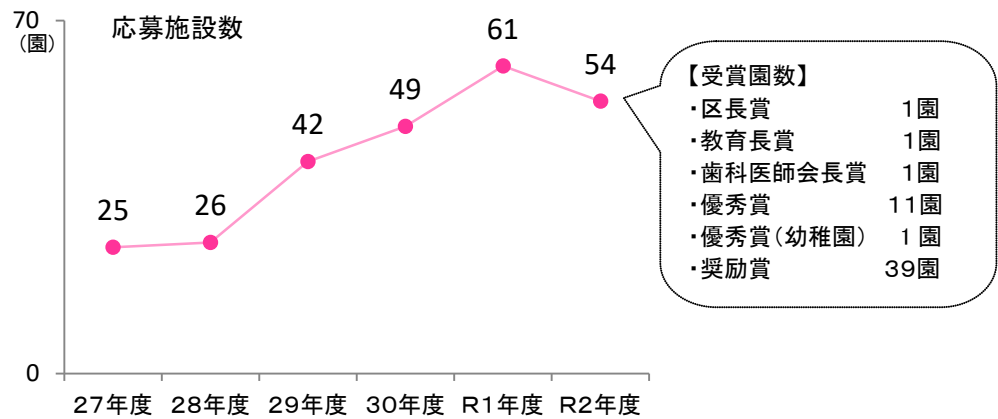
令和2年度は、緊急事態宣言により中止となった施設に、ワークシート等の資料配付を実施(78施設2,146人)

「6歳臼歯健康教室」実施状況

	教室実施数			
	合計	私立幼稚園	保育施設	小学校
R2年度 (R1年度)	61 (212)	6 (28)	22 (123)	33 (61)

イ 「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施

歯みがきや歯によいおやつ<sup>①</sup>の習慣づくり等に積極的に取り組む保育施設や幼稚園を表彰し、リーフレットやホームページ等で広く区民に紹介



ウ 飛沫防止の歯みがきマナー啓発の取り組み

飛沫を防ぐ歯みがき・うがいの方法について、印刷物を作成・配付

- ・歯みがきマナー啓発うちわ 27,000部
- ・飛沫防止啓発ステッカー 8,000部



\*子どもたちの歯みがき練習で使用  
「歯みがきマナー啓発うちわ」  
(年長児・小学1, 2年生等)



\*洗面台等に貼って啓発  
「飛沫防止啓発ステッカー」  
(区関連施設、教育・保育施設等)

### 3 糖尿病重症化予防

#### (1) 40歳前の健康づくり健診

ヘモグロビンA1c値5.6%以上の方291人全員に対して、栄養指導・保健指導を実施。さらに2か月後に、受診状況や生活改善状況を確認するフォローを電話等で実施。

年度	健診受診者 (人) a	ヘモグロビンA1c値 5.6%以上の人数 b (b/a%)	栄養指導(5.6~6.4%対象) 実施数 c (c/a%)	保健指導 (6.5%以上対象) 実施数 d (d/a%)	2か月後 フォロー数(人)	
					栄養指導 実施数 e (e/c%)	保健指導 実施数 f (f/d%)
R2	949	291 (30.7%)	287 (30.2%)	4 (0.4%)	234 (81.5%)	4 (100%)
R1	1,324	220 (16.6%)	214 (16.2%)	6 (0.4%)	158 (73.8%)	6 (100%)

令和3年4月末時点

#### (2) 医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり

協力医療機関数371機関(内科131、眼科33、歯科193、薬局14)

#### (3) 薬剤師会による糖尿病重症化予防フォロー事業の実施

ア 区内14薬局(※1)において、ヘモグロビンA1c値測定の結果、糖尿病が疑われるヘモグロビンA1c値6.5%以上の区民を医療機関へ受診勧奨

	ヘモグロビンA1c値 測定者数 a	ヘモグロビンA1c値 6.5%以上の人数 b (b/a%)	受診確認が できた人数 c (c/b%)
足立区民	83人 (88人) ※3	7人 (11人)	1人 ※2 (4人)
区外	20人 (40人)	3人 (5人)	—

※1 令和2年12月に1薬局減少、令和3年3月に3薬局追加

※2 7人のうち受診確認できなかった6人の内訳：すでに病院につながっていた方1人、連絡が取れない方2人、薬局にて経過観察の方3人

※3 ( )内は、令和元年度の実績



イ 薬局でのヘモグロビンA1c値測定とベジタベライフを合わせた啓発用ティッシュを作成し、薬局で配布（7,000個）

(4) 各種イベントや乳幼児健診等でのヘモグロビンA1c値測定

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施している各種イベントでのヘモグロビンA1c値測定が実施できず、測定者は116名であった。

前年度に比べて測定者は減少したが、乳幼児健診では、ヘモグロビンA1c値測定の代わりに、短時間で行える血糖検査を339件、個別指導を636件実施した。

(5) 糖尿病・成人眼科健診（※令和元年度より名称変更）

生活習慣や加齢に伴う眼科疾患(糖尿病網膜症、緑内障、白内障、加齢黄斑変性等)を早期に発見して進行を予防するため、対象者全員に受診券を送付

ア 対象者

(ア) 45歳・50歳・55歳の足立区国民健康保険加入者で、次のいずれかの条件に該当する方

- ① 前年度の足立区国民健康保険特定健診を受診しなかった方
- ② 前年度の足立区国民健康保険特定健診を受診し、ヘモグロビンA1c値5.6%以上で眼底検査を受診していない方

(イ) 60歳と65歳の区民全員（前年度の足立区国民健康保険特定健診眼底検査受診者を除く）※令和元年度より65歳を追加

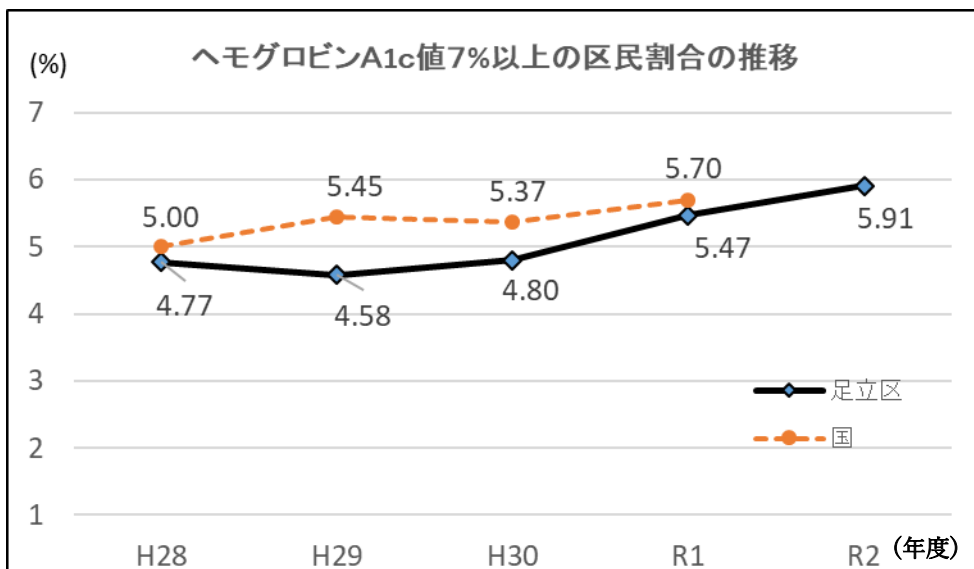
イ 受診者数

年度	対象者数	受診者数	受診率
R2	19,213人	2,818人	14.7%
R1	19,356人	2,941人	15.2%

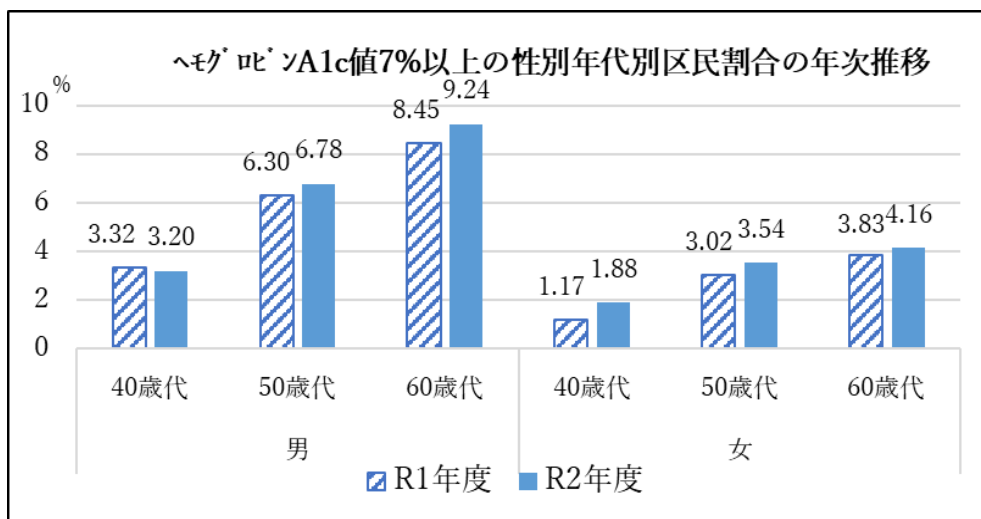
(6) ヘモグロビンA1c値7%以上の区民（足立区国保40～74歳の特定健診受診者のうちヘモグロビンA1c値7%以上の者）の割合

ヘモグロビンA1c値7%以上の区民の割合は、昨年度に比べ0.44ポイント増加した。コロナ禍における生活様式の変化（在宅ワーク・外出自粛による運動不足、食生活の乱れ等）も影響を与えていると推測している。

性別年代別に見ると、どの年代でも男性の割合が高く、50代から数値が急激に増加している。



【参考】



問題点  
今後の方針

今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、「糖尿病対策アクションプラン」の3つの基本方針に基づき、対策を進めていく。

野菜を食べやすい環境づくりでは、事業所などの職場領域における「野菜摂取量の見える化」による啓発や、SNSを活用した情報発信を行い、特に働き世代の男性にアプローチしていく。さらに、重症化予防については、データヘルス推進課と連携し、ハイリスク者への受診勧奨、若年者には健診後の指導を通じた予防支援を行っていく。

# 厚生委員会報告資料

令和3年7月1日

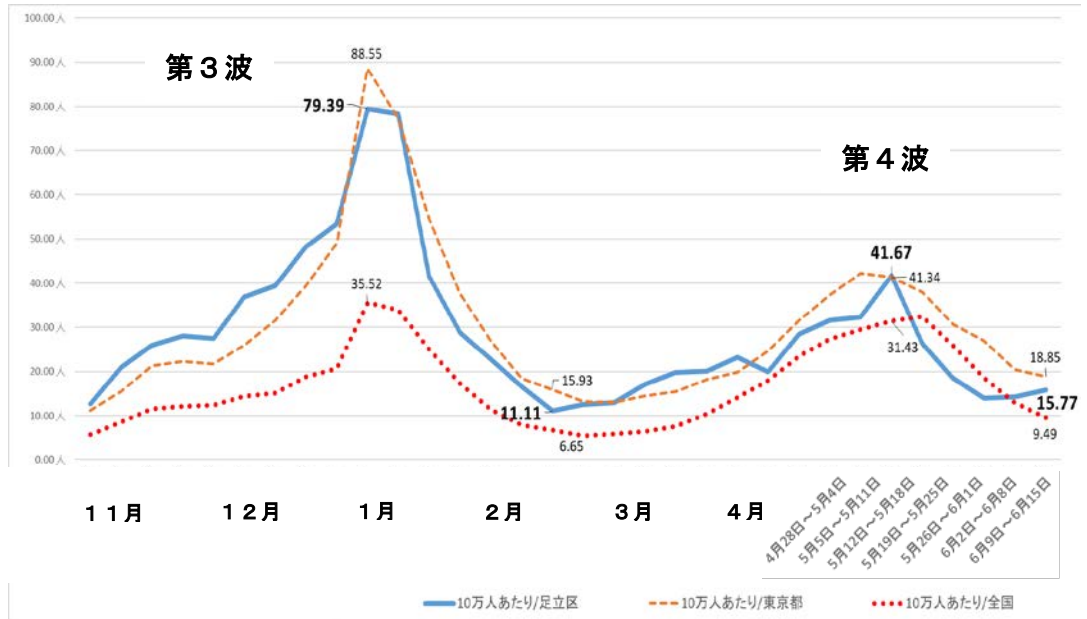
件名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について																																				
所管部課名	衛生部足立保健所感染症対策課																																				
内容	<p><b>1 区内感染状況の概要</b></p> <p>(1) 区内におけるPCR検査件数と陽性率の推移</p> <p>図1のとおり、PCR検査数に占める陽性率は、令和3年4月以降、第4波による感染者増の影響から、一時8%弱まで上昇したが、3回目の緊急事態宣言が発令され、6月18日現在4%程度まで低下している。</p> <p>(図1) 区内におけるPCR検査件数と陽性率の推移 (6/18 午前9時)</p> <table border="1"> <caption>図1: 区内におけるPCR検査件数と陽性率の推移 (6/18 午前9時)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>検査数/件</th> <th>陽性者数/人</th> <th>陽性率/%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月</td> <td>~1,800</td> <td>~100</td> <td>~5.6%</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>~3,500</td> <td>~400</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>4,337</td> <td>~500</td> <td>~11.5%</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>~2,800</td> <td>~100</td> <td>~3.6%</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>1,984</td> <td>~60</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>~2,000</td> <td>~100</td> <td>~5.0%</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>3,305</td> <td>~250</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>2,156</td> <td>~80</td> <td>3.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 区内における感染者数の推移及び最近の傾向</p> <p>ア P22 別紙3のとおり、2回目の緊急事態宣言が令和3年3月に解除されて以降、再び感染者が増加に転じたが、令和3年4月に3回目となる緊急事態宣言が発令された結果、令和3年5月中旬以降、感染者の発生のペースが若干収まりつつある状況となっている。</p> <p>イ 最近の傾向としては、イギリス型 (N501Y) 変異株の影響から、20代から40代の比較的若い年代において感染者及び重症者が増加している。また、今後インド型 (L452R) 変異株の都内流行も懸念され、予断を許さない状況である。</p>	期間	検査数/件	陽性者数/人	陽性率/%	11月	~1,800	~100	~5.6%	12月	~3,500	~400	11.5%	1月	4,337	~500	~11.5%	2月	~2,800	~100	~3.6%	3月	1,984	~60	3.0%	4月	~2,000	~100	~5.0%	5月	3,305	~250	7.7%	6月	2,156	~80	3.9%
期間	検査数/件	陽性者数/人	陽性率/%																																		
11月	~1,800	~100	~5.6%																																		
12月	~3,500	~400	11.5%																																		
1月	4,337	~500	~11.5%																																		
2月	~2,800	~100	~3.6%																																		
3月	1,984	~60	3.0%																																		
4月	~2,000	~100	~5.0%																																		
5月	3,305	~250	7.7%																																		
6月	2,156	~80	3.9%																																		

(3) 1週間毎の人口10万人あたりの新規陽性者数

現状、3回目となる緊急事態宣言の効果により、全国的に感染者が減少傾向となっている状況である。

足立区においても、断続的なクラスターの発生により、一時感染者が急増したが、5月中旬以降は全国、東京都と同様、感染者の発生は減少傾向となっている。

(図2) 1週間毎の人口10万人あたりの新規陽性者数(6/18 午前9時)



2 クラスター発生状況(6月23日 午前9時現在)

令和2年7月以降、区内で発生したクラスターの総数は56件、その陽性者の総数は951名で、全体の約1割強を占めている。

なお、令和3年4月12日以降に発生した施設のみ記載する。

(1) 医療機関

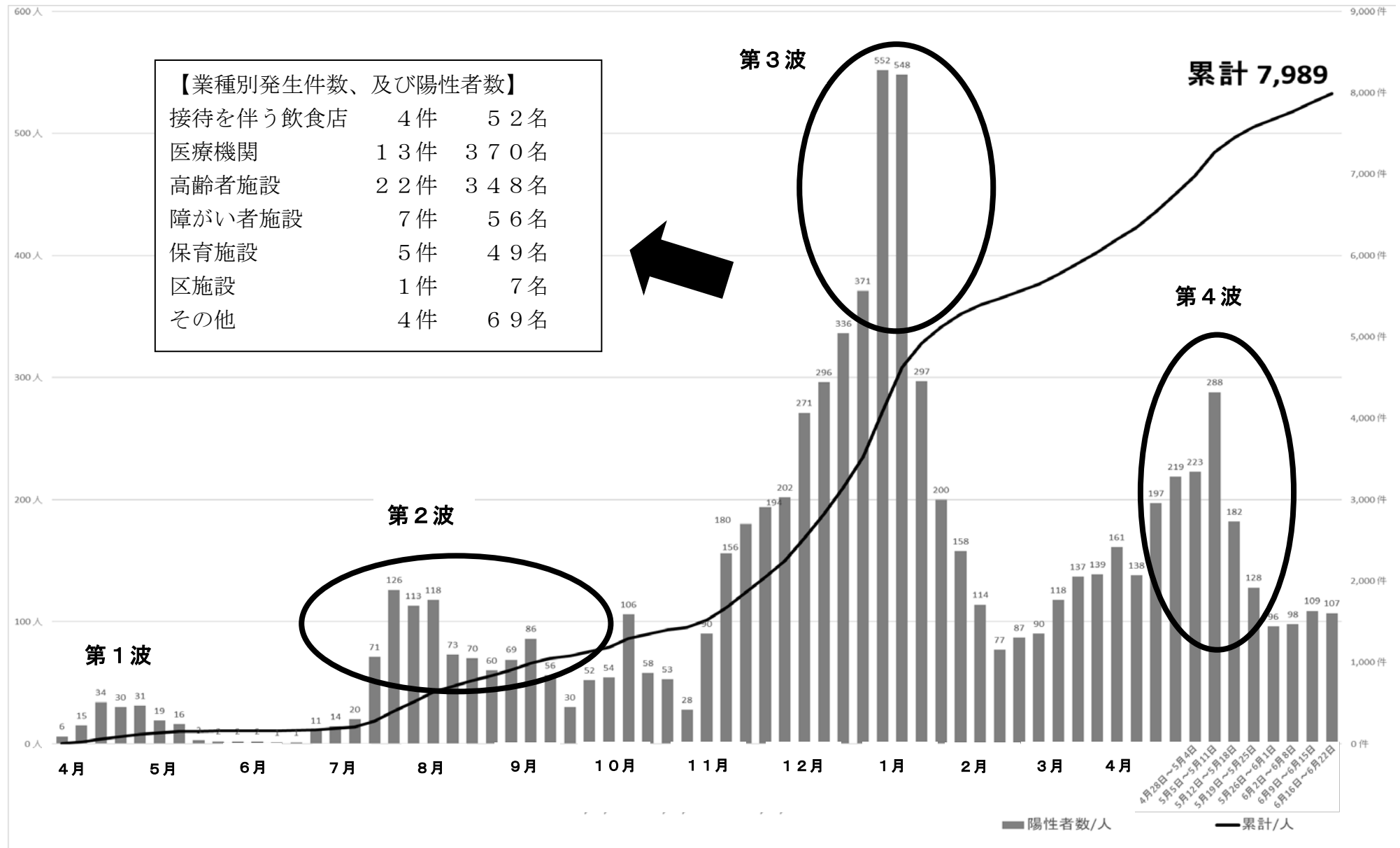
- ・ 「医療法人社団日岩会 下井病院(足立区綾瀬)」  
4月28日プレス発表(感染者数5名)

(2) 高齢者施設

- ・ 「グループホームきらら東綾瀬(足立区東綾瀬)」  
4月12日プレス発表(感染者数8名)
- ・ 「株式会社クリア クリア足立(足立区入谷)」  
4月28日プレス発表(感染者数18名)
- ・ 「社会福祉法人健修会 イーストピア東和(足立区東和)」  
5月24日プレス発表(感染者数6名)

	<p>(3) 障がい者施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ぷらちな児童デイ（足立区加平）」 4月19日プレス発表（感染者数7名）</li> <li>・ 「キッズの森第2（足立区梅田）」 4月24日プレス発表（感染者数12名）</li> <li>・ 「谷中ハウス（足立区谷中）」 5月7日プレス発表（感染者数8名）</li> <li>・ 「綾瀬あかしあ園（足立区綾瀬）」 5月8日プレス発表（感染者数7名）</li> </ul> <p>(4) 保育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「未来っ子保育園北加平町園（足立区北加平町）」 5月1日プレス発表（感染者数20名）</li> <li>・ 「てのひら保育園・第2てのひら保育園（足立区舎人）」 5月11日プレス発表（感染者数5名）</li> </ul> <p>(5) 区施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「足立福祉事務所中部第二福祉課（足立区中央本町）」 6月2日プレス発表（感染者数7名）</li> </ul> <p><b>3 足立区PCR検査センターに係る検査体制の変更について</b></p> <p>足立区医師会に委託して実施しているPCR検査センターは、令和3年度の検査体制を7月1日（木）から以下のとおり変更する。</p> <p>(1) 実施場所</p> <p>現在運営している場所を変更するが、変更後の場所も引き続き非公表とする。</p> <p>(2) 運営時間（変更なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土曜日 午後2時から午後4時まで</li> <li>・ 日曜、祝日 午後1時から午後4時まで</li> </ul> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年1月より実施している休日応急診療所の患者に対する唾液回収は継続する。</li> <li>・ 区が委託実施しているPCR検査センターの警備については、6月末で終了する。</li> </ul>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>今後、区内における感染拡大を防止するため、相談・検査等の体制の拡充を図り、患者が円滑に医療機関を受診できるような体制構築していく。</p>

### 区内感染者数の推移、累計及びクラスター発生状況（6月23日 午前9時現在）



# 厚生委員会報告資料

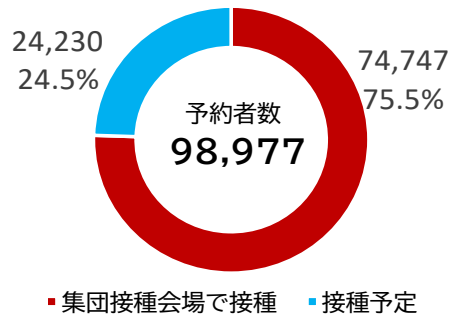
令和3年7月1日

件名	新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況について																																																	
所管部課名	新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課																																																	
	<p>新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況等につき、以下、報告する。</p> <p><b>1 予約・接種状況について（6月24日午前9時現在）</b></p> <p><b>(1) 65歳以上の方の「接種者数」（速報値）</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">1回目接種</th> <th>人数</th> <th colspan="2">接種券送付者数に対する割合（※）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">接種済</td> <td>区の集団接種会場</td> <td>74,747人</td> <td>42.5%</td> <td rowspan="2">63.2%</td> </tr> <tr> <td>個別接種、国の大規模接種会場等</td> <td>36,458人</td> <td>20.7%</td> </tr> <tr> <td>未接種</td> <td>VRS（国のワクチン接種記録システム）未登録</td> <td>64,865人</td> <td colspan="2">36.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計（65歳以上接種券送付者数）</td> <td>176,070人</td> <td colspan="2">100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">2回目接種</th> <th>人数</th> <th colspan="2">接種券送付者数に対する割合（※）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">接種済</td> <td>区の集団接種会場</td> <td>27,141人</td> <td>15.4%</td> <td rowspan="2">20.5%</td> </tr> <tr> <td>個別接種、国の大規模接種会場等</td> <td>9,052人</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>未接種</td> <td>VRS（国のワクチン接種記録システム）未登録</td> <td>139,877人</td> <td colspan="2">79.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計（65歳以上接種券送付者数）</td> <td>176,070人</td> <td colspan="2">100%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ 端数処理の関係上100%にならない場合がある。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="color: red;">■</span> 集団接種            <span style="color: green;">■</span> 個別接種、大規模接種会場等            <span style="color: blue;">■</span> VRS未登録、未接種者  <small>※VRS＝国のワクチン接種記録システム</small> </p>				1回目接種		人数	接種券送付者数に対する割合（※）		接種済	区の集団接種会場	74,747人	42.5%	63.2%	個別接種、国の大規模接種会場等	36,458人	20.7%	未接種	VRS（国のワクチン接種記録システム）未登録	64,865人	36.8%		合計（65歳以上接種券送付者数）		176,070人	100%		2回目接種		人数	接種券送付者数に対する割合（※）		接種済	区の集団接種会場	27,141人	15.4%	20.5%	個別接種、国の大規模接種会場等	9,052人	5.1%	未接種	VRS（国のワクチン接種記録システム）未登録	139,877人	79.4%		合計（65歳以上接種券送付者数）		176,070人	100%	
1回目接種		人数	接種券送付者数に対する割合（※）																																															
接種済	区の集団接種会場	74,747人	42.5%	63.2%																																														
	個別接種、国の大規模接種会場等	36,458人	20.7%																																															
未接種	VRS（国のワクチン接種記録システム）未登録	64,865人	36.8%																																															
合計（65歳以上接種券送付者数）		176,070人	100%																																															
2回目接種		人数	接種券送付者数に対する割合（※）																																															
接種済	区の集団接種会場	27,141人	15.4%	20.5%																																														
	個別接種、国の大規模接種会場等	9,052人	5.1%																																															
未接種	VRS（国のワクチン接種記録システム）未登録	139,877人	79.4%																																															
合計（65歳以上接種券送付者数）		176,070人	100%																																															

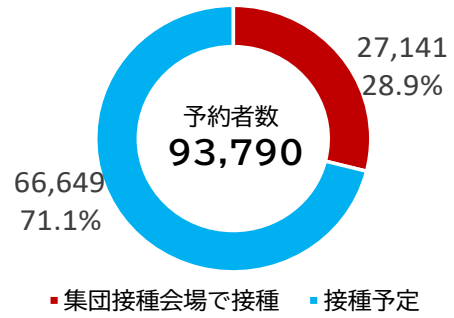
(2) 65歳以上の方の「区の集団接種の予約者数」と「接種者数」(速報値)

区の 集団接種	予約者数	接種者数	予約者数に対する 接種者数の割合
1回目接種	98,977人	74,747人	75.5%
2回目接種	93,790人	27,141人	28.9%

接種者数/予約者数(1回目)



接種者数/予約者数(2回目)



2 今後の接種券の発送予定について

あだち広報6月10日号でお知らせした日付より、可能な限り前倒しをして接種券を送付する。なお、厚生労働省の指示により、5月21日からファイザー社製ワクチンの対象者年齢が16歳以上から12歳以上に引き下げとなったため、夏休み中に接種を受けられるよう発送日を再設定した(8段階に分けて送付→15歳～12歳を含め6段階で送付)。

対象年齢	接種券送付日	対象者数 ※1
64歳～62歳	6月28日(月)	18,714人
61歳～60歳	7月1日(木)	13,889人
59歳～46歳	7月5日(月)	142,156人
45歳～39歳	7月12日(月)	64,167人
15歳～12歳 ※2		22,012人
38歳～30歳	7月15日(木)	75,407人
29歳～16歳	7月19日(月)	104,501人
合計		440,846人

※1 対象者数は6月1日時点の人数。対象年齢の基準日は令和4年4月1日

※2 発送日以降に12歳の誕生日を迎える方には、原則、誕生日当日に郵送する予定。

小学生は保護者同伴が原則。中学生については、国の情報等の確認がとれ次第、ホームページ等で改めて案内する。区立小・中学校の児童・生徒には各学校を通じてお知らせする。



### 3 接種予約の手続き代行に係る取り組みについて

#### (1) 予約代行サポート窓口（5月11日～7月31日予定）

現在、本庁舎1階区民ロビーほか計8か所で開設している予約代行サポート窓口の利用実績は以下のとおり（5月11日～6月23日）

予約手続き数（新規・変更）	7,825人
キャンセル手続き数	935人

#### (2) 足立成和信用金庫13店舗におけるサポート

足立区・足立成和信用金庫『協働・協創』推進のための包括連携協定に基づき、足立成和信用金庫においてもインターネット予約の操作サポートを6月14日～7月31日で実施（祝日除く）

### 4 今後の接種について

#### (1) 庁舎ホール大規模接種

国からの支援を受け、庁舎ホールにて大規模接種を行うことで、高齢者の方向け接種を7月末までに完了させる取り組みを実施

##### ア 接種日

第1回接種 6月24日～7月 3日（10日間）

第2回接種 7月22日～7月31日（10日間）

第3回接種 8月22日～9月 1日（10日間）

※ 第3回は、第2回が1回目接種の2回目用の枠

##### イ 受付時間

9時～11時30分、13時～17時

##### ウ 対象者

7月末までに接種が完了しない見込みの65歳以上の高齢者  
（24,490人：6月14日正午現在）

##### エ 使用ワクチン

モデルナ社製（一本あたり最大10回分の接種可能）

##### オ 接種規模

1日あたり2,000人の接種を想定

##### カ 通知方法

6月18日および21日に個別通知を対象者宛に一斉送付

##### キ 残余ワクチンの取扱い

庁舎ホールでは15レーンで接種し、一定程度の残余ワクチンが生じることが想定されるため、区民と接する機会が多い職員（約200人）に接種を行う。

##### ク その他

9月以降の庁舎ホール大規模接種の継続について検討を進めていく。

## (2) 足立区医師会館での接種

足立区医師会館を集団接種会場としてワクチン接種を実施

### ア 接種開始日

7月3日(土)以降、毎週土曜日(午後)・日曜日(午前・午後)

### イ 接種会場

足立区医師会館(足立区中央本町三丁目4番4号)

### ウ 予約方法

区の予約システムにて行う。

### エ 接種規模

土曜日200人、日曜日400人(午前・午後で200人ずつ)

### オ 優先接種

上記接種規模の半数は、私立保育園、私立幼稚園、学童・児童館・住区センター、障がい者施設などの従事者への優先接種枠とする(1,200人分)。

今後、区内関係所管において接種希望者を募り、接種を進めていく。

## (3) 9月末以降の集団接種

区内を3ブロックに分け、週4~5日のローテーションで接種を実施するよう調整中

※ 会場は現在検討中(会場の一つとして東京電機大学と交渉中)

※ 使用ワクチンはモデルナ社製を想定

## (4) 小・中学生(12~15歳)に対する接種

区内小・中学校での集団接種は行わないが、学校を通じて、保護者に対して具体的な接種の流れをお知らせするなど丁寧に対応していく。

## (5) 移動が困難な方に対する接種

高齢者福祉担当所管、障がい者福祉担当所管、社会福祉協議会等による支援の利用状況など、様々な視点から対象者を把握し、医療機関による巡回接種等を活用していただけるよう関係機関との連携を進めていく。

### ア 高齢者施設

施設での接種ができない2施設に対し、キャラバン隊(足立区医師会の医師派遣)による巡回接種を実施

- ・ 6月13日および20日に約140人に対し接種
- ・ 2回目接種は7月4日および11日の予定

### イ 障がい者施設

- ・ 7月18日に巡回接種する方向で調整中

### ウ 在宅介護者

- ・ 接種にお困りの方への対応について、今後協議を進めていく。

	<p><b>5 個別接種について</b></p> <p><b>(1) 個別接種ができる医療機関一覧を区ホームページに掲載</b> 6月22日現在登録数：163医療機関</p> <p><b>(2) 4医療機関が区の予約システムにて予約受付を開始</b> 6月 1日から予約受付開始 東和病院 博慈会記念総合病院 6月21日から予約受付開始 西新井病院 西新井病院附属成和クリニック</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<p>高齢者向けの集団接種は順調に進んでいるが、国の大規模接種や個別接種の進捗状況に伴ってキャンセルが生じているため、空いた枠を考慮に入れながら、一般向けの接種枠拡大を検討していく。</p> <p>また、64歳以下の方への接種券発送については、遅滞なく確実に発送作業を行っていく。</p> <p>今後、ファイザー社製ワクチンについては、供給量が縮小するとの方向性が国から示されていることから、区が実施する集団接種においては、モデルナ社製ワクチンを活用するとともに、あらゆる手段を講じてワクチンの確保に努める。</p>